

町政モニターアンケート
報告書
(H28. 9月実施)

平成28年度
横瀬町

【調査の概要】

1. 調査の目的

町政モニターの皆さんの要望を把握するとともに、町の事業や施策について、意見や考えを聞き、よりよい諸施策の推進に向けた基礎資料とするため実施する。

2. 調査内容

(1) 横瀬町のまちづくりに関することについて

3. 調査設計

(1) 調査対象 横瀬町町政モニター 15名

(2) 調査期間 平成28年9月6日(火)～9月30日(金)

※期限過ぎに提出されたものも集計しています。

4. 回収結果

調査対象	対象者数	回答者	回収率
町政モニター	15	15	100.0%

5. 集計結果の見方

(1) 小数点第2位を四捨五入し、構成比率(%)で小数点第1位までを表示します。そのため、合計が100%にならない場合があります。

(2) 自由記述部分は、ご本人の意を尊重し、文体・表現はそのままいたしました。

平成28年度町政モニターアンケート(第1回の結果)

1 はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

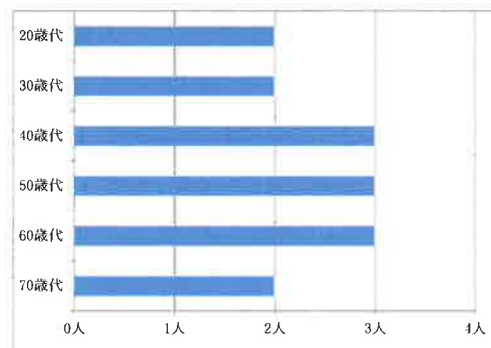
問1 あなたの性別をお教えてください。

1 男性	66.7%	10人
2 女性	33.3%	5人
計		15人



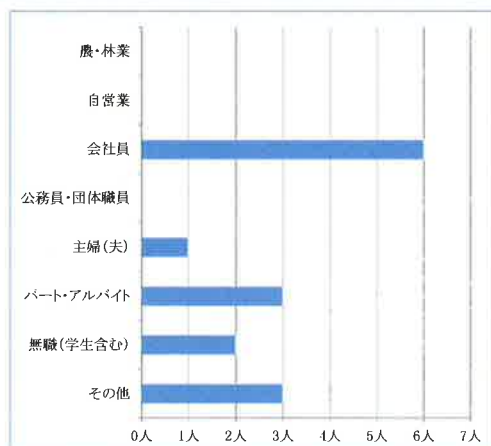
問2 あなたの年齢を教えてください。

1 20歳代	13.3%	2人
2 30歳代	13.3%	2人
3 40歳代	20.0%	3人
4 50歳代	20.0%	3人
5 60歳代	20.0%	3人
6 70歳代	13.3%	2人
計		15人



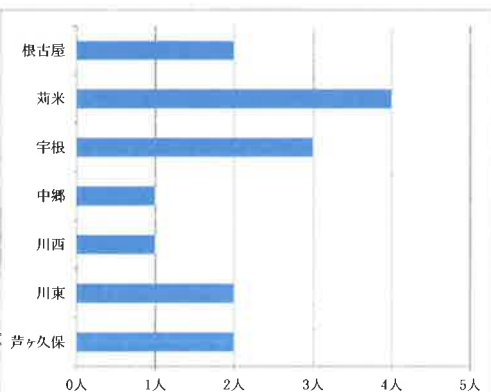
問3 あなたの職業を教えてください。

1 農・林業	0.0%	0人
2 自営業	0.0%	0人
3 会社員	40.0%	6人
4 公務員・団体職員	0.0%	0人
5 主婦(夫)	6.7%	1人
6 パート・アルバイト	20.0%	3人
7 無職(学生含む)	13.3%	2人
8 その他	20.0%	3人
計		15人



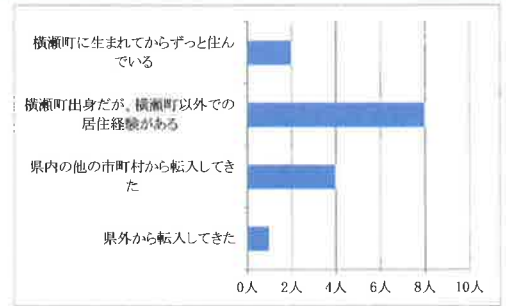
問4 あなたのお住まいの地区を教えてください。

1 根古屋	13.3%	2人
2 苅米	26.7%	4人
3 宇根	20.0%	3人
4 中郷	6.7%	1人
5 川西	6.7%	1人
6 川東	13.3%	2人
7 芦ヶ久保	13.3%	2人
計		15人



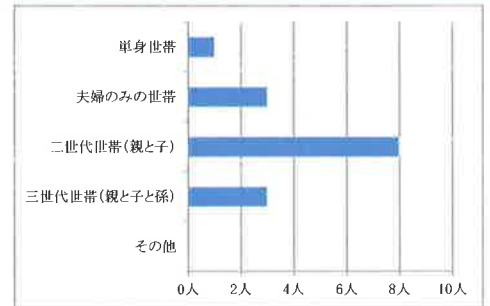
問5 あなたの居住歴について教えてください。

1 横瀬町に生まれてからずっと住んでいる	13.3%	2人
2 横瀬町出身だが、横瀬町以外での居住経験がある	53.3%	8人
3 県内の他の市町村から転入してきた	26.7%	4人
4 県外から転入してきた	6.7%	1人
計		15人



問6 あなたの世帯構成について教えてください。

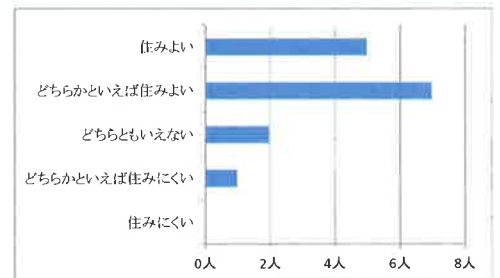
1 単身世帯	6.7%	1人
2 夫婦のみの世帯	20.0%	3人
3 二世帯世帯(親と子)	53.3%	8人
4 三世帯世帯(親と子と孫)	20.0%	3人
5 その他	0.0%	0人
計		15人



2 横瀬町のまちづくりに関することについておたずねします。

問7 あなたにとって横瀬町は住みよいまちですか。

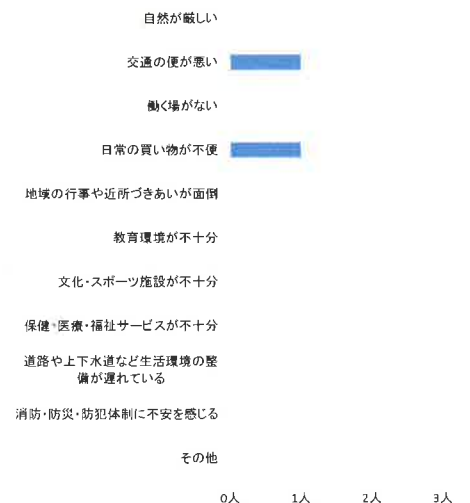
1 住みよい ⇒ 問9へ	33.3%	5人
2 どちらかといえば住みよい ⇒ 問9へ	46.7%	7人
3 どちらともいえない ⇒ 問9へ	13.3%	2人
4 どちらかといえば住みにくい ⇒ 問8へ	6.7%	1人
5 住みにくい ⇒ 問9へ	0.0%	0人
計		15人



横瀬町は住みよいまちか聞いたところ、「どちらかといえば住みよい」の割合が46.7%と最も多く4割を越え、次いで「住みよい」の割合が33.3%であった。

問8 問7で「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」と答えた方におたずねします。その理由は何ですか。(2つまで選択可)

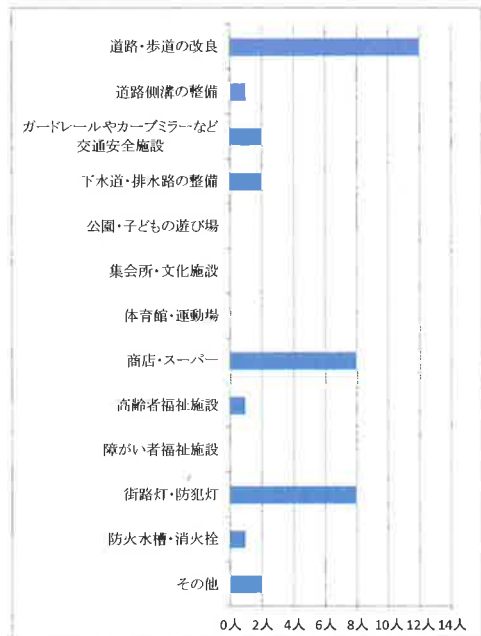
1 自然が厳しい	0.0%	0人
2 交通の便が悪い	50.0%	1人
3 働く場がない	0.0%	0人
4 日常の買い物が不便	50.0%	1人
5 地域の行事や近所づきあいが面倒	0.0%	0人
6 教育環境が不十分	0.0%	0人
7 文化・スポーツ施設が不十分	0.0%	0人
8 保健・医療・福祉サービスが不十分	0.0%	0人
9 道路や上下水道など生活環境の整備が遅れている	0.0%	0人
10 消防・防災・防犯体制に不安を感じる	0.0%	0人
11 その他	0.0%	0人
計		2人



横瀬町が住みにくい理由として、「交通の便が悪い」、「日常の買い物が不便」と答えています。

問9 あなたは、身近な生活環境のなかで、特にどのような施設の整備が必要だと思いますか。(3つまで選択可)

1 道路・歩道の改良	32.4%	12人
2 道路側溝の整備	2.7%	1人
3 ガードレールやカーブミラーなど交通安全施設	5.4%	2人
4 下水道・排水路の整備	5.4%	2人
5 公園・子どもの遊び場(ひろば)	0.0%	0人
6 集会所・文化施設	0.0%	0人
7 体育館・運動場	0.0%	0人
8 商店・スーパー	21.6%	8人
9 高齢者福祉施設	2.7%	1人
10 障がい者福祉施設	0.0%	0人
11 街路灯・防犯灯	21.6%	8人
12 防火水槽・消火栓	2.7%	1人
13 その他	5.4%	2人
計		37人



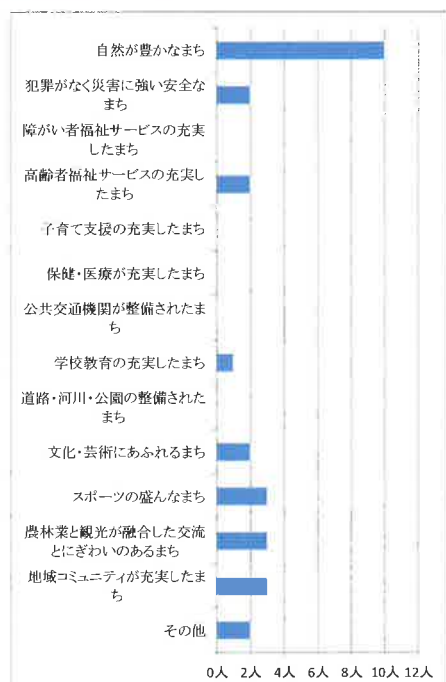
身近な生活環境のなかで、特にどのような施設の整備が必要か聞いたところ、「道路・歩道の改良」の割合が32.4%と最も多く、次いで「商店・スーパー」、「街路灯・防犯灯」の割合が21.6%であった。

【その他】

- ・パワーセンター
- ・駅前にミニコンビニ。町民会館のカフェスペースの開業。(高齢者のたまり場としてボランティアでも)

問10 あなたは、横瀬町はどのようなまちだと思いますか。(2つまで選択可)

1 自然が豊かなまち	35.7%	10人
2 犯罪がなく災害に強い安全なまち	7.1%	2人
3 障がい者福祉サービスの充実したまち	0.0%	0人
4 高齢者福祉サービスの充実したまち	7.1%	2人
5 子育て支援の充実したまち	0.0%	0人
6 保健・医療が充実したまち	0.0%	0人
7 公共交通機関が整備されたまち	0.0%	0人
8 学校教育の充実したまち	3.6%	1人
9 道路・河川・公園の整備されたまち	0.0%	0人
10 文化・芸術にあふれるまち	7.1%	2人
11 スポーツの盛んなまち	10.7%	3人
12 農林業と観光が融合した交流とにぎわいのあるまち	10.7%	3人
13 地域コミュニティが充実したまち	10.7%	3人
14 その他	7.1%	2人
計		28人



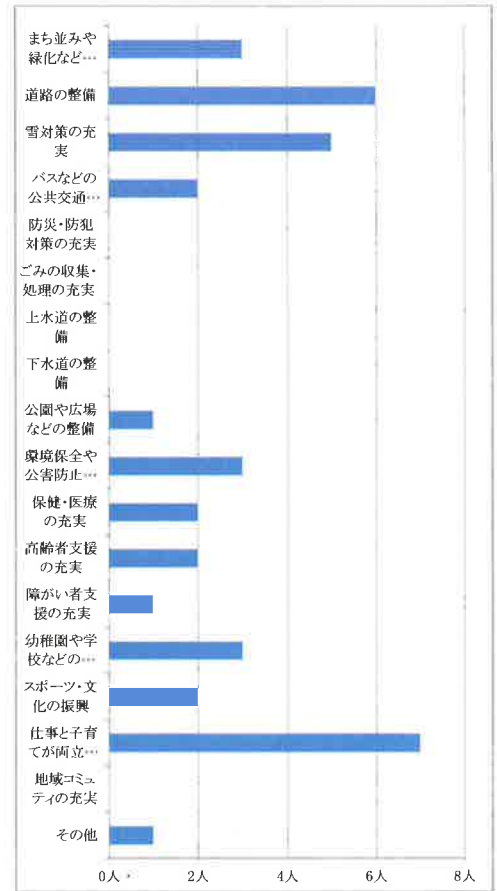
横瀬町はどのようなまちか聞いたところ、「自然が豊かなまち」の割合が35.7%と最も多く3割を越え、次いで「スポーツの盛んなまち」、「農林業と観光が融合した交流とにぎわいのあるまち」、「地域コミュニティが充実したまち」の割合が10.7%であった。

【その他】

- ・良い悪いにつけ、なんの特徴もない町
- ・地区単位のコミュニティーは出来ているが町として横断的な交流面では寂しい。

問11 あなたは、横瀬町が今後どのような分野を重点的に取り組んでいくべきと考えますか。(3つまで選択可)

1	まち並みや緑化など景観整備	7.9%	3人
2	道路の整備(県道・町道の整備等)	15.8%	6人
3	雪対策の充実(除雪、融雪等)	13.2%	5人
4	バスなどの公共交通機関の充実	5.3%	2人
5	防災・防犯対策の充実	0.0%	0人
6	ごみ収集・処理の充実	0.0%	0人
7	上水道の整備	0.0%	0人
8	下水道の整備(公共下水道の整備、合併浄化槽の普及等)	0.0%	0人
9	公園や広場などの整備	2.6%	1人
10	環境保全や公害防止対策の充実	7.9%	3人
11	保健・医療の充実	5.3%	2人
12	高齢者支援の充実	5.3%	2人
13	障がい者支援の充実	2.6%	1人
14	幼稚園や学校などの教育環境の充実	7.9%	3人
15	スポーツ・文化の振興	5.3%	2人
16	仕事と子育てが両立できる子育て支援の充実	18.4%	7人
17	地域コミュニティの充実	0.0%	0人
18	その他	2.6%	1人
		計	38人



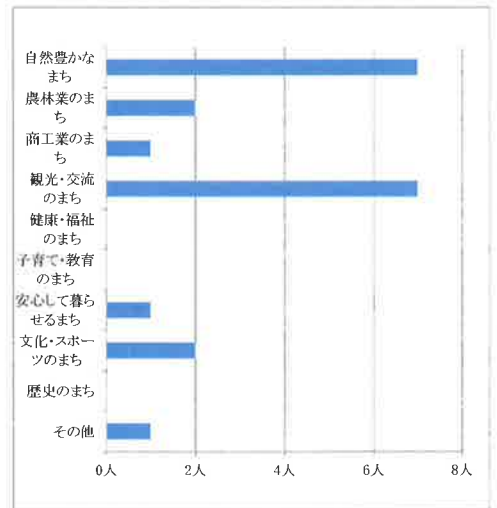
横瀬町が今後どのような分野を重点的に取り組んでいくべきか聞いたところ、「仕事と子育てが両立できる子育て支援の充実」の割合が18.4%と最も多く、次いで「道路の整備(県道・町道の整備等)」の割合が15.8%、「雪対策の充実(除雪、融雪等)」の割合が13.2%と続いた。

【その他】

・仕事場の創設。企業誘致 起業化支援

問12 あなたは、将来の横瀬町がどのようなまちになることを望みますか。(2つまで選択可)

1	森林や田園風景がある自然豊かなまち	33.3%	7人
2	農業や林業を中心として発展する農林業のまち	9.5%	2人
3	商店街の振興や地場産業の育成、企業誘致による商工業のまち	4.8%	1人
4	地域資源を活用し、観光や交流事業を進める観光・交流のまち	33.3%	7人
5	人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち	0.0%	0人
6	子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち	0.0%	0人
7	防災・防犯体制が充実した安心して暮らせるまち	4.8%	1人
8	文化・芸術・スポーツ環境の整った文化・スポーツのまち	9.5%	2人
9	歴史・文化を大切にし、まちづくりに生かす歴史のまち	0.0%	0人
10	その他	4.8%	1人
		計	21人



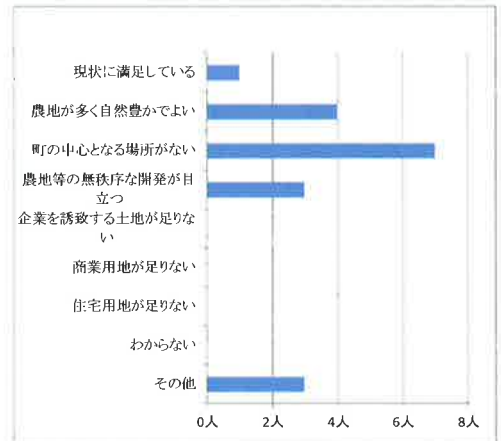
将来の横瀬町がどのようなまちになることを望むか聞いたところ、「森林や田園風景がある自然豊かなまち」、「地域資源を活用し、観光や交流事業を進める観光・交流のまち」の割合が33.3%と最も多く3割であった。

【その他】

・地域資源には料理上手な御婆さん、野菜作りの達人、手打ちうどんの達人も入ります。

問13 町の発展に向けて、計画的な土地の利用を進めていく必要があります。あなたは、横瀬町全体の土地利用についてどう思いますか。(2つまで選択可)

1 現状に満足している	5.6%	1人
2 農地が多く自然豊かでよい	22.2%	4人
3 町の中心となる場所がない	38.9%	7人
4 農地等の無秩序な開発が目立つ	16.7%	3人
5 企業を誘致する土地が足りない	0.0%	0人
6 商業用地が足りない	0.0%	0人
7 住宅用地が足りない	0.0%	0人
8 わからない	0.0%	0人
9 その他	16.7%	3人
計		18人



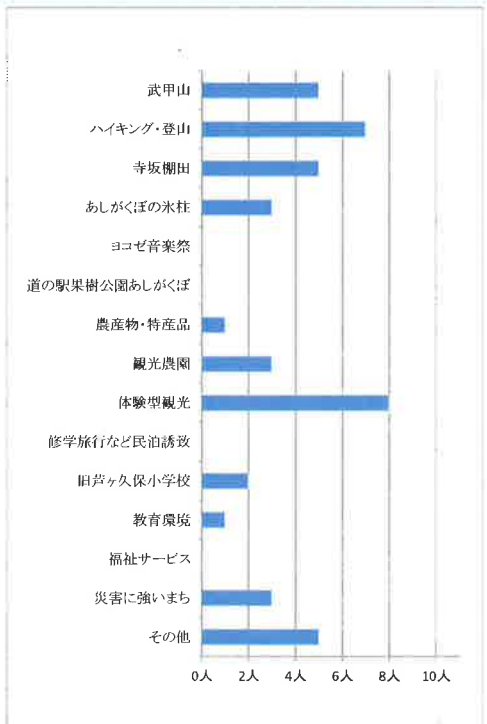
横瀬町全体の土地利用について聞いたところ、「町の中心となる場所がない」の割合が38.9%と最も多く3割を越え、次いで「農地が多く自然豊かでよい」の割合が22.2%であった。

【その他】

- ・休耕地の活用
- ・遊休農地を雑草から草花などへ変えて観光に利用していく。春～蓮華、夏～ひまわり、秋～コスモス
- ・どの土地が町所有なのかとか、土地を売りたい人、買いたい人、貸したい人、借りたい人とかわかれば。

問14 あなたは、横瀬町の認知度とイメージを向上するため、今後どのような内容をPRすべきと考えますか。(3つまで選択可)

1 武甲山	11.6%	5人
2 ハイキング・登山(武甲山・二子山・あしがくぼ山の花道・丸山など)	16.3%	7人
3 寺坂棚田	11.6%	5人
4 あしがくぼの氷柱	7.0%	3人
5 ヨコゼ音楽祭	0.0%	0人
6 道の駅果樹公園あしがくぼ	0.0%	0人
7 農産物・特産品	2.3%	1人
8 観光農園	7.0%	3人
9 体験型観光(農業体験・林業体験・そば打ち体験など)	18.6%	8人
10 修学旅行など民泊誘致	0.0%	0人
11 旧芦ヶ久保小学校	4.7%	2人
12 教育環境	2.3%	1人
13 福祉サービス	0.0%	0人
14 災害に強いまち	7.0%	3人
15 その他	11.6%	5人
計		43人



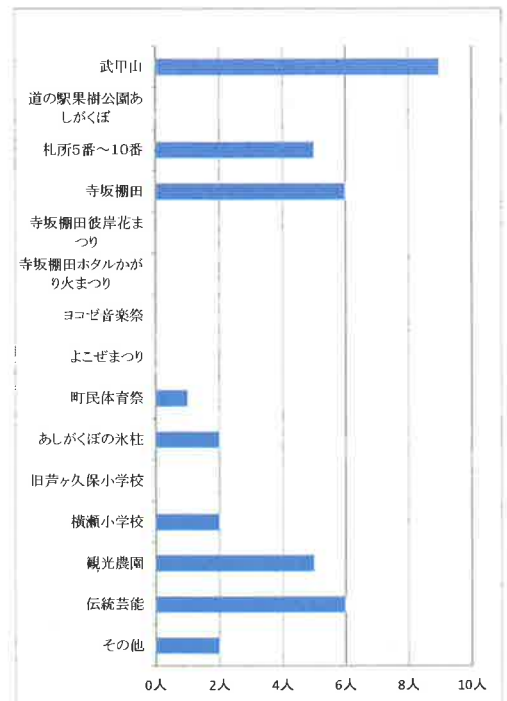
横瀬町の認知度とイメージを向上するため、今後どのような内容をPRすべきか聞いたところ、「体験型観光(農業体験・林業体験・そば打ち体験など)」の割合が18.6%と最も多く、次いで「ハイキング・登山(武甲山・二子山・あしがくぼの山の花道・丸山など)」の割合が16.3%であった。

【その他】

- ・旧芦ヶ久保の活用。芸術家のアトリエなど。
- ・一般向けに横瀬滞在型観光、民泊の可能な特区指定で安価に気軽に横瀬に滞在してもらう。
- ・サブカルチャー的なアピール。今あるものよりも新しい発見が必要。例:ブロンコ等
- ・看板や標識(表現の自由内)に信濃文字のような易しい文字で自然木を用いた(アースカラー)気持ちの癒される表示に統一されれば。140号のチェーン店舗の派手な看板の乱立は観光地には最悪。
- ・14.災害に強いまち、地震や台風などのが少ないと思う。

問15 あなたにとって、横瀬町の郷土の誇りや宝(自慢できるもの)は何ですか。(3つまで選択可)

1 武甲山	23.7%	9人
2 道の駅果樹公園あしがくぼ	0.0%	0人
3 札所5番～10番	13.2%	5人
4 寺坂棚田	15.8%	6人
5 寺坂棚田彼岸花まつり	0.0%	0人
6 寺坂棚田ホテルかがり火まつり	0.0%	0人
7 ヨコゼ音楽祭	0.0%	0人
8 よこぜまつり	0.0%	0人
9 町民体育祭	2.6%	1人
10 あしがくぼの氷柱	5.3%	2人
11 旧芦ヶ久保小学校	0.0%	0人
12 横瀬小学校	5.3%	2人
13 観光農園	13.2%	5人
14 伝統芸能(里宮の神楽・横瀬の人形芝居・芦ヶ久保の獅子舞)	15.8%	6人
15 その他	5.3%	2人
計		38人



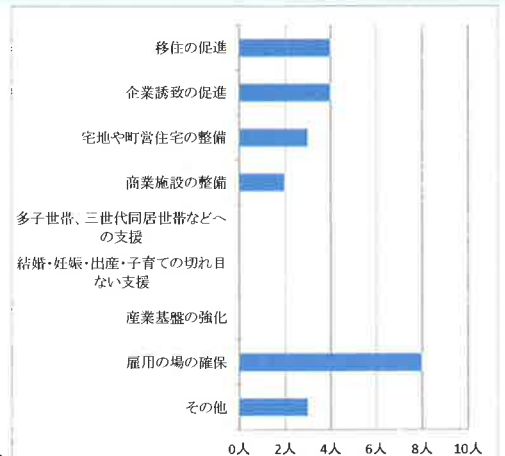
横瀬町の郷土の誇りや宝(自慢できるもの)を聞いたところ、「武甲山」の割合が23.7%と最も多く、次いで「寺坂棚田」、「伝統芸能(里宮の神楽・横瀬の人形芝居・芦ヶ久保の獅子舞)」が15.8%であった。

【その他】

- ・太鼓
- ・現在するものは良いが新しい発見が必要。

問16 人口減少が全国的な問題となっており、横瀬町の人口も年々減少しています。あなたは、人口減少対策として、どのようなことが重要と考えますか。(2つまで選択可)

1 移住の促進	16.7%	4人
2 企業誘致の促進	16.7%	4人
3 宅地や町営住宅の整備	12.5%	3人
4 商業施設の整備	8.3%	2人
5 多子世帯、三世帯同居世帯などへの支援	0.0%	0人
6 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	0.0%	0人
7 産業(観光、農業など)基盤の強化	0.0%	0人
8 雇用の場の確保	33.3%	8人
9 その他	12.5%	3人
計		24人



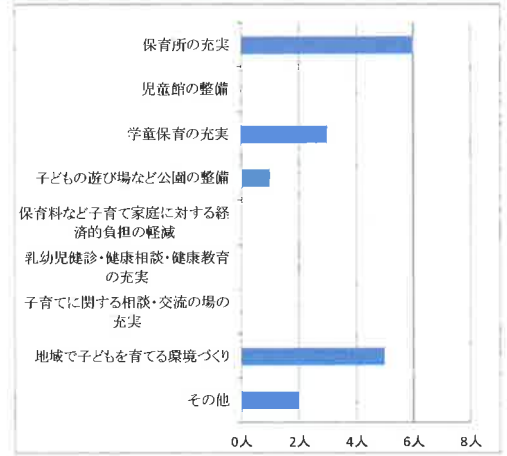
人口減少対策として、どのようなことが重要か聞いたところ、「雇用の場の確保」の割合が33.3%と最も多く3割を越え、次いで「移住の促進」、「企業誘致の促進」の割合が16.7%であった。

【その他】

- ・婚活支援
- ・移住したくなる町の特徴を＝特徴的な教育システム(ex幼少からの外国語教育・異文化交流 or 日本古来の武道や華道の必修教育)
農業の活性化＝求められる流通システムと品質追及(ex 道の駅をテスト場として、ゆくゆく首都圏の量販店に横瀬ブランドのコーナー設置)
里山料理の商品化＝地域の経験豊富な御婆さんが作る煮物、漬物をパックで道の駅で試験販売して計画化。
- ・移住は若者にこだわらない。確かに子供が増えることは良さそうだが今の状態では学校を出たら町を出ていく。この状態を解消しないことには根本的には問題は解決しない。

問17 あなたは、横瀬町の少子化対策、子育て環境を充実するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(2つまで選択可)

1 保育所の充実	35.3%	6人
2 児童館の整備	0.0%	0人
3 学童保育の充実	17.6%	3人
4 子どもの遊び場など公園の整備	5.9%	1人
5 保育料など子育て家庭に対する経済的負担の軽減	0.0%	0人
6 乳幼児健診・健康相談・健康教育の充実	0.0%	0人
7 子育てに関する相談・交流の場の充実	0.0%	0人
8 地域で子どもを育てる環境づくり	29.4%	5人
9 その他	11.8%	2人
計		17人



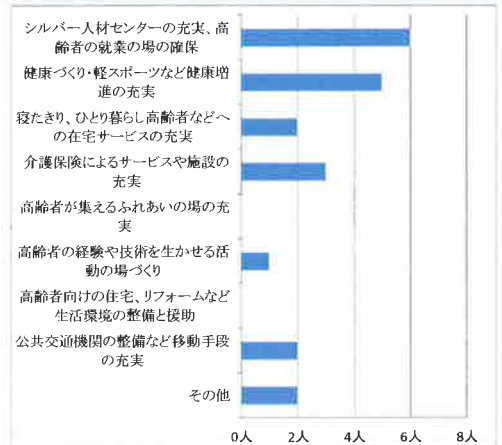
横瀬町の少子化対策、子育て環境を充実するため、今後どのような取り組みが必要か聞いたところ、「保育所の充実」の割合が35.3%と最も多く、次いで「地域で子どもを育てる環境づくり」が29.4%であった。

【その他】

- ・三世帯家族への支援
- ・仕事との両立が出来る条件整備＝2所帯又は近接住居を勧め、親の協力が欠かせないので孫の送迎や看病に心配をなくする。
(医師と連携した高齢者のベビーシッター制度でバックアップ出来ないか？(シルバー人材と))

問18 あなたは、高齢者が安心して暮らせる社会を築くために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(2つまで選択可)

1 シルバー人材センターの充実、高齢者の就業の場の確保	28.6%	6人
2 健康づくり・軽スポーツなど健康増進の充実	23.8%	5人
3 寝たきり、ひとり暮らし高齢者などへの在宅サービスの充実	9.5%	2人
4 介護保険によるサービスや施設の充実	14.3%	3人
5 高齢者が集えるふれあいの場の充実	0.0%	0人
6 高齢者の経験や技術を生かせる活動の場づくり	4.8%	1人
7 高齢者向けの住宅、リフォームなど生活環境の整備と援助	0.0%	0人
8 公共交通機関の整備など移動手段の充実	9.5%	2人
9 その他	9.5%	2人
計		21人



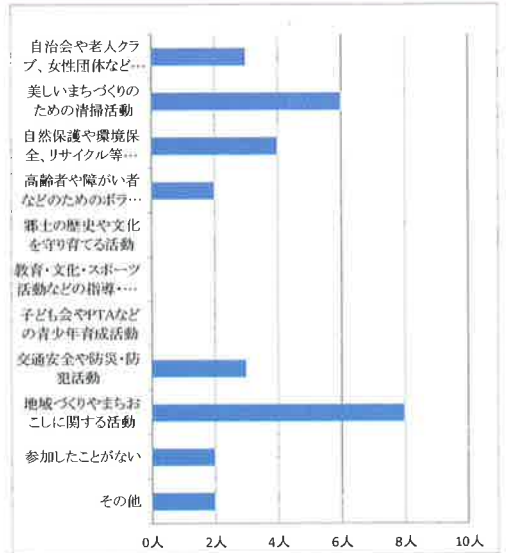
高齢者が安心して暮らせる社会を築くために、今後どのような取り組みが必要か聞いたところ、「シルバー人材センターの充実、高齢者の就業の場の確保」の割合が28.6%と最も多く、次いで「健康づくり・軽スポーツなど健康増進の充実」の割合が23.8%であった。

【その他】

- ・高齢者よりの政策はあまり良くない。
- ・年齢に関係なく働けるうちは働き、それができなくなったら滑り止めとして4が充実していれば安心

問19 まちづくりには、町民みなさんの主体的な活動が不可欠です。あなたは、どのような地域活動・ボランティア活動に参加されていますか。(あてはまるものすべて)

1 自治会や老人クラブ、女性団体などの活動	10.0%	3人
2 美しいまちづくりのための清掃活動	20.0%	6人
3 自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動	13.3%	4人
4 高齢者や障がい者などのためのボランティア活動	6.7%	2人
5 郷土の歴史や文化を守り育てる活動	0.0%	0人
6 教育・文化・スポーツ活動などの指導・運営に関する活動	0.0%	0人
7 子ども会やPTAなどの青少年育成活動	0.0%	0人
8 交通安全や防災・防犯活動	10.0%	3人
9 地域づくりやまちおこしに関する活動	26.7%	8人
10 参加したことがない	6.7%	2人
11 その他	6.7%	2人
計		30人



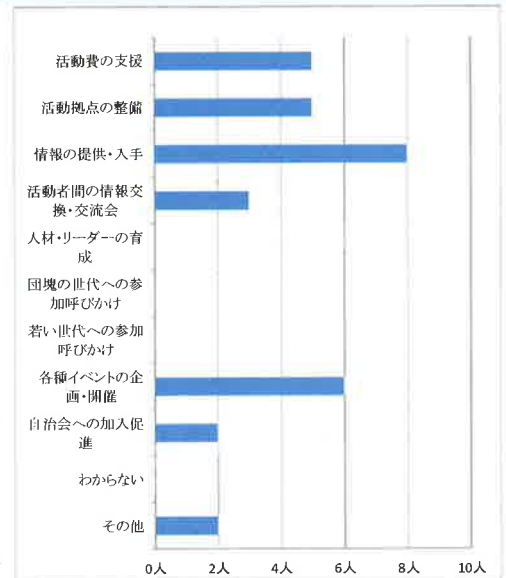
どのような地域活動・ボランティア活動に参加されているか聞いたところ、「地域づくりやまちおこしに関する活動」の割合が26.7%と最も多く、次いで「美しいまちづくりのための清掃活動」の割合が20.0%であった。

【その他】

- ・消防団
- ・「花の郷うね」で横瀬駅の美化、公道沿いのプランター設置、花育成、広場の除草等

問20 あなたは、地域活動の輪を広げていくために、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで選択可)

1 活動費の支援	16.1%	5人
2 活動拠点の整備	16.1%	5人
3 情報の提供・入手	25.8%	8人
4 活動者間の情報交換・交流会	9.7%	3人
5 人材・リーダーの育成	0.0%	0人
6 団塊の世代への参加呼びかけ	0.0%	0人
7 若い世代への参加呼びかけ	0.0%	0人
8 各種イベントの企画・開催	19.4%	6人
9 自治会への加入促進	6.5%	2人
10 わからない	0.0%	0人
11 その他	6.5%	2人
計		31人



地域活動の輪を広げていくために、どのようなことが必要か聞いたところ、「情報の提供・入手」の割合が25.8%と最も多く、次いで「各種イベントの企画・開催」の割合が19.4%であった。

【その他】

- ・秩父郡市共同イベント
- ・住民が参加しやすい形をどのように作り出していくか。

問21 横瀬町の将来やまちづくりについて、ご意見・ご提案などありましたら、ご自由にご記入ください。

よこぜ音楽祭について: 広く町民に音楽に親んでもらうということであれば、あまりクラシックにとらわれないで色々なジャンルの方をゲストに迎えた方が良いと思います。以前、近所の年配の方から「落語や三味線ならお金を出しても観に行きたいが、ピアノじゃわからないな…」という声を聞いたことがあります。

落語では、音楽というスタンスからは、離れてしまうかもしれませんが、やはり興味ある(好き)ものでなければ、お金を出してチケットは購入しないと思います。

好きな方にとって3000円は、安いと思いますが、興味がない方にとって3000円は、少し高いと思います。一年おきにして有名な方を迎える、あるいは、チケット代を少し安くする、という考えもありなのかなと思います。

横瀬町へ観光に来た人が、お土産に買って帰れる、パッケージに横瀬をあらわしたお菓子などの販売、秩父ではなく。

横瀬町の自然、文化、歴史などを体験的に知ってもらうため、それぞれの専門家の協力のもと、移住につながるかもしれない滞在型観光を考えて見てはいかがでしょうか。いわば現在受け入れている修学旅行生の民泊の成人版です。修学旅行は自分の意志で来るのではなく、あわただしく、横瀬の魅力を知ってもらうには不十分です。

民泊は旅館との兼ね合いで難しいこともあるでしょうが、やはり滞在型となると安価に宿泊できることが重要です。国に申請して民泊の特区に指定してもらうとか方法はあります。私は移住者ですが、横瀬での自給自足の生活を楽しませてもらっています。そんな生活に興味のある方に来ていただき、我が家に宿泊してもらい、簡単な農業体験と自給自足の楽しい生活を味わってもらえたらいいかなと思っています。文化や歴史に興味のある方は別の専門の方に担当してもらえれば幅広く横瀬も魅力を発信できるのではないのでしょうか。

何処の地域も同様ですが、横瀬町も高齢化が進んでいると思います。年を取っても安心して住める町も肝心ですが、これから担う子供たちが少なくなくては話しになりません。少子化、子供育成に力を注いで下さい。

横瀬は良くも悪くも特徴の無い町、注目されていないので、住んでる人には住みやすい。アニメやドラマの撮影で注目を集めている今だからこそ、町おこしに聖地巡礼を活用しましょう。

小学校・中学校の合併

・企業誘致による人口増加⇔排他意識の改善←地元行事活性化

・観光客誘致→宿泊推進(PR、行政補助)

・地域農業活性化、体験学習等

まったくの私見です。

現在私どもの周りは、特に都会では市場原理主義・グローバリズム・加えてTPP締結など、何やら個人・家庭・組織・地域・国家すべてに連帯感や共同感、協力感などの認め、知り合う人的交流が欠けてきています。又我が国の医療保険制度がTPPで数年で破綻すると事もあろうに厚生官僚が発言しています。

町の自主財源5か年見通しでは町税は維持傾向ですが、果たして? 義務的経費の扶助費も維持ですが、高齢人口の増加で果たして?

よってまちづくりについてあれもこれも町の財源をあてにする提案はできません。

この町にはまだまだ人々の温かい交流があります。若干頑迷な体質と同級生と親戚ネットワークが強く外部からの参入は難しいという点があります。

『高齢者が陽気で元気な町』……町の医院が老人たちの憩いの場 じゃあ困るので

- ① 高齢者による高齢者介助 = 民生委員の下に地域高齢者が分担で独居老人の見守り、介助、集会への引っ張り出しを定例化する。
- ② 地域集会所で軽運動とお茶会 = 地域高齢者の体育活動を専任講師に指導を受けて全員参加で実施。爾後お茶会で談笑会。
- ③ じゃぱりオモテナシ = 里山散策、芝桜、氷柱、棚田、その他西武鉄道企画などでお出でになる方々へお茶でも差上げ親切にする高齢者。
(街道沿いに廃材の丸太ベンチを設営して粗茶・トイレの提供など)
- ④ 地域間の交流促進 = 町の運動会のような「御遊び交流会」の計画 地域同士の自慢大会(歌でもかくし芸、農産物でも何でも)
- ⑤ 高齢者の伝承料理を商品化 = 衛生管理の課題はありますがこの美味しさは何とか商品化できないかと思案したい。

『色んな交流会の盛んな町』= ex 農家の方々と流通業者・色んな国の方々と子供たちの交流会